

再生骨材コンクリートの活用事例

■オリンピックアクアティクスセンター(仮称)(27)新築工事



■工事種類：建築工事
■工事概要：施設用途：観覧場、水泳競技場、構造規模：S造、一部RC造地上4階、地下1階

再生骨材コンクリートの活用

- 再生骨材コンクリートL
- 打設量：978m³
- 打設箇所：捨てコンクリート

■大井ホッケー競技場(仮称)(29)新築及び改修その他工事



■工事種類：建築工事
■工事概要：施設用途：観覧場、喫茶店、サービス業を営む店舗ほか、構造規模：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造ほか、地上3階

再生骨材コンクリートの活用

- 再生骨材コンクリートL
- 打設量：307.1m³
- 打設箇所：捨てコンクリート

■有明アリーナ(仮称)(27)新築工事



■工事種類：建築工事
■工事概要：施設用途：観覧場、水泳競技場、構造規模：鉄筋コンクリート造ほか、地上5階

再生骨材コンクリートの活用

- 再生骨材コンクリートL
- 打設量：1,758m³
- 打設箇所：捨てコンクリート

■平成27年度海の森水上競技場整備工事(建築工事含む)



■工事種類：土木工事/建築工事
■工事概要：施設用途：観覧場、事務所、機械室、構造規模：鉄骨造、地上4階

再生骨材コンクリートの活用

- 再生骨材コンクリートH
- 打設量：21,101m³(土木工事)
242.8m³(建築工事)
- 打設箇所：
コンクリート構造物(土木工事)
捨てコンクリート(建築工事)



“都市の建設資源” ～コンクリート塊の再利用～

～資源循環・脱炭素社会実現に向けて～

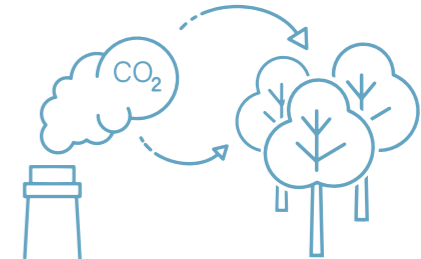
循環経済(サーキュラーエコノミー)

建設工事・解体工事などで発生したコンクリート塊を資源として再利用することで環境負荷を抑えながら、持続可能な社会を目指した循環経済(サーキュラーエコノミー)の活性化が期待されます。



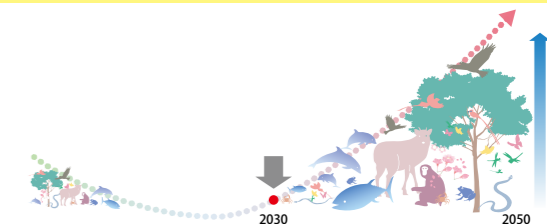
脱炭素

コンクリート塊を再び砕石や骨材として活用することにより、自然環境への負荷を低減するとともに、CO2排出削減にも貢献することが期待されます。



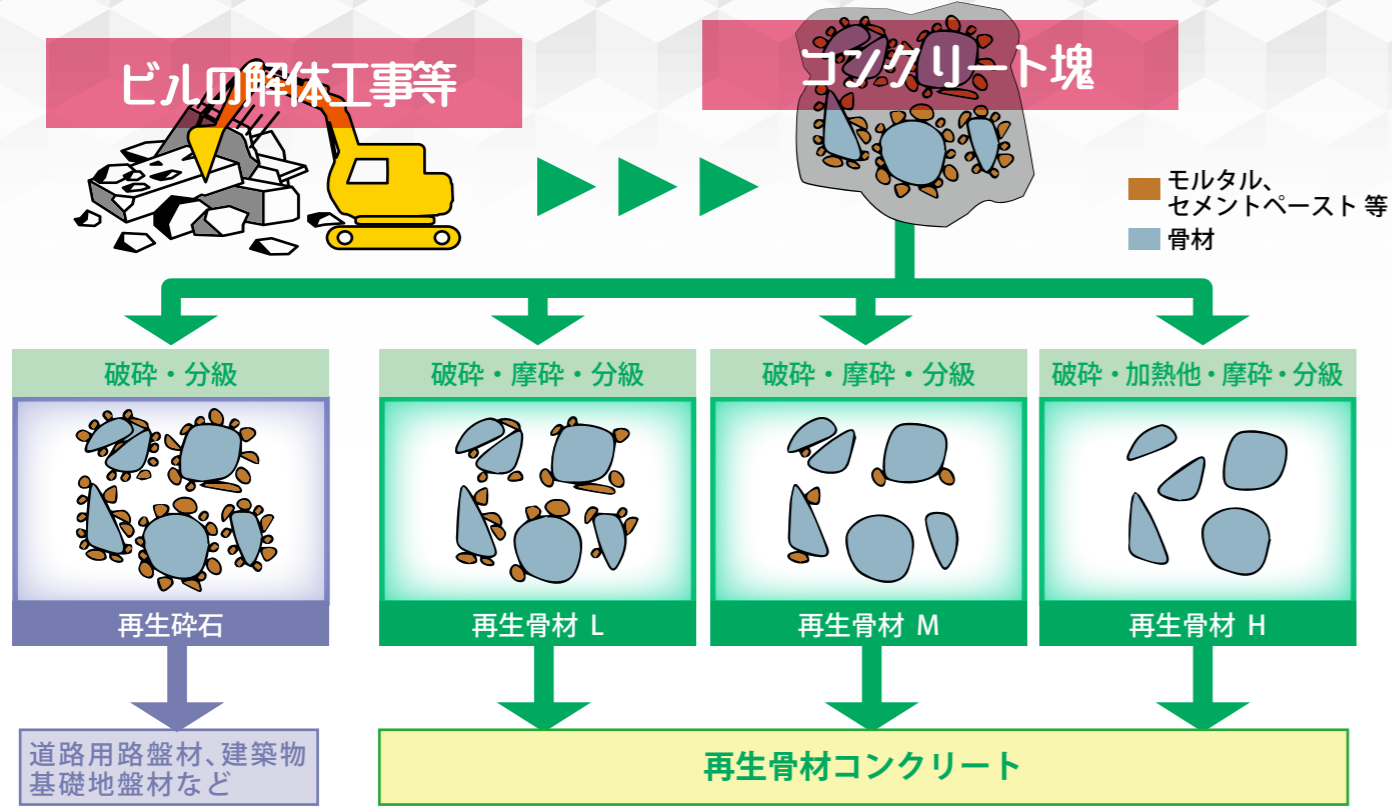
ネイチャーポジティブ

自然豊かな山にある天然資源の採取を抑制することによって、生物多様性の喪失を防ぐことができることから、ネイチャーポジティブ(自然再興)が期待されます。



コンクリート塊からの再生材ってどんなもの？

■コンクリート塊の処理



コンクリート塊ってどうやって循環するの？

建設工事・解体工事などで発生したコンクリート塊は、再生骨材にリサイクルすることで新たなコンクリート構造体に生まれ変わります。



再生骨材コンクリートってどんなもの？

■再生骨材コンクリートの主な種類と用途

再生骨材の区分・種類	適用性能	主な種類
再生骨材コンクリート L (JIS A 5023)	標準品 高い強度・高い耐久性が要求されない、かつ凍結融解作用を受けない部材又は部位	裏込めコンクリート、間詰めコンクリート、均しコンクリート、捨てコンクリート、土間コンクリート、ラップルコンクリート、押えコンクリート、嵩上げコンクリートなど
再生骨材コンクリート M (JIS A 5022)	標準品 乾燥収縮及び凍結融解の影響を受けにくい部材及び部位	地中構造物 (杭、耐圧板、基礎梁、鋼管充填コンクリート等) 又は乾湿の繰り返しを受けない部材。継続的に乾湿を受けないよう表面が保護される部位、仮設杭 (タワークレーン杭、構真台柱杭) など
	耐凍害品 乾燥収縮に影響を受けにくい部材で、かつ凍結融解作用の影響を受ける部材及び部位	同上及び水際の構造物、水路構造物水槽などの乾燥の影響の小さい部位、又は寸法が小さく乾燥ひび割れの発生の懸念の少ないプレキャスト製品など
再生骨材 H (JIS A 5021) を用いたコンクリート (JIS A 5308)	一般の RC 構造物	普通コンクリートと同等 (高強度コンクリート以外)

出展：一般社団法人再生骨材コンクリート普及連絡協議会の会員資料を基に作成

■再生骨材コンクリート単価

一般社団法人再生骨材コンクリート普及連絡協議会の再生骨材コンクリート単価^{※1}

再生骨材コンクリートの種類	単価
再生骨材コンクリート H	下記2誌の生コン単価の平均と同額 ①月刊建設物価 (一般財団法人建設物価調査会) ②月刊積算資料 (一般財団法人経済調査会) ^{※2}
再生骨材コンクリート M	上記再生骨材コンクリート H の単価から 100 円引いた額
再生骨材コンクリート L	上記再生骨材コンクリート H の単価から 200 円引いた額

※1：2025年10月末ヒアリング時点
※2：『月刊積算資料』2025年10月号掲載の価格は以下の通り (規格：21-18-20 (25))。
東京 (17区)：24,050円/m³、目黒・世田谷：23,450円/m³、練馬・板橋：22,900円/m³、足立・葛飾：23,700円/m³、八王子・府中：23,400円/m³、立川：23,400円/m³、調布：23,400円/m³、武蔵野：23,400円/m³、町田：23,300円/m³ (『東京 (17区)』とは、目黒区、世田谷区、練馬区、板橋区、足立区、葛飾区を除く17区です。)
出典：一般財団法人経済調査会発行 月刊積算資料 2025年10月号

再生骨材コンクリートってどこに使われるの？

コンクリート塊は、私たちの目に見えない、ビルの地中構造物や基礎に役立つ新たなコンクリートとして蘇ります。

コンクリートの二次製品としても蘇ります

再生骨材コンクリート M



再生骨材コンクリート L



基礎工事前の地均しへの適用 (捨てコンクリート)



平面的な打設・仕上げへの適用 (土間コンクリート)

再生骨材コンクリート M



地中構造物への適用 (現場打杭、地中梁や地下躯体等)



外構工事への適用 (現場打ち側溝やU字溝、基礎コンクリート)

出典：一般社団法人再生骨材コンクリート普及連絡協議会の会員資料を基に作成